

地域計画

策定年月日	令和7年3月28日
更新年月日	令和 年 月 日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	美郷町 (45431)
地域名 (地域内農業集落名)	鬼神野地区 (牛山・榎木・田出原・市谷・床並・尾迎・小村・川原・折立・川上迫・入田・古川・小田集落)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	52.03 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	52.03 ha
② 田の面積	52.03 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.00 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.00 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.00 ha
(参考) 区域内における80才以上の農業者の農地面積の合計	5.34 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0.53 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における80才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<p>【 地域の状況 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当地区は、美郷町の南西部に位置し山林に囲まれ、小丸川の流域に水田がある。</li> <li>・水稻を主に作付を行っている。</li> </ul> <p>【 高齢化 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作者の平均年齢が70才と高齢化しており、後継者不在の農地が0.37haと現在は少ないが今後増えていくと考えられる。</li> </ul> <p>【 鳥獣被害 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イノシシ・シカによる獣害を受けている。</li> <li>・鳥獣被害による作物への被害が多く、耕作意欲の低下に繋がっている。</li> </ul>
--

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<p>水稻が収容作物であるこの地域は、生産者の高齢化が進んでいることから、若手生産者の確保が必要である。今後、後継者の育成を進め、若手生産者へ集約して行くことで生産力を確保したい。</p>
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	31.9	%	将来の目標とする集積率
			51.9 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
鬼神野地区の中心的な経営体や担い手に、集約を行っていく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に集積・集約化を進め、鬼神野活動組織で協議を行い進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農業委員会と連携し、農用地集積の柱となる新たな担い手の育成を図る。
(3)基盤整備事業への取組
基盤整備事業の活用予定はないが地域農業者の需要を踏まえて検討していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、関係機関と連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
作業の効率化が期待できるドローン防除作業は、きじの防除組合への委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

- ①地域による鳥獣被害対策の集落点検マップ(侵入防止柵や檻の設置状況、目撃・被害発生場所等)づくりや、連絡網の整備や新たな捕獲人材を募集し、地域で育成していく。  
 ⑧担い手の営農や農業を担う者の利用状況などを考慮の上、農業用施設の維持補修を行っていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	大山 辰徳	水稻	15.29 ha	ha	水稻	15.29 ha	ha	1E	
利用者	奥山 勝	水稻、WCS	2.06 ha	ha	水稻、WCS	2.06 ha	ha	1F	
利用者	長尾 一彦	水稻	2.16 ha	ha	水稻	2.16 ha	ha	1G	
認農	藤本栄仁	花き	0.83 ha	ha	花き	0.83 ha	ha	1H	
認農	(株)きじの	ブロイラー	0.46 ha	ha	ブロイラー	0.46 ha	ha	1I	
認農	(合)NCF	ブロイラー	0.93 ha	ha	ブロイラー	0.93 ha	ha	1J	
計	6経営体		21.73 ha	0.00 ha		21.73 ha	0.00 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業者名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月28日
更新年月日	令和 年 月 日 ( 第1回 )
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	美郷町 ( 4 5 4 3 1 )
地域名 (地域内農業集落名)	神門上1地区 (仮屋集落)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	24.52 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	24.52 ha
② 田の面積	24.52 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.00 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.00 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.00 ha
(参考) 区域内における80才以上の農業者の農地面積の合計	1.15 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0.55 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<p>【 地域の状況 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当地区は、美郷町の南西部に位置し山林に囲まれ、小丸川の流域に水田がある。</li> <li>・水稻を主に作付を行っている。</li> </ul> <p>【 高齢化 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作者の平均年齢が65才と高齢化しており、後継者不在の農地が今後増えていくと考えられる。</li> </ul> <p>【 鳥獣被害 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イノシシ・シカによる獣害を受けている。</li> <li>・鳥獣被害による作物への被害が多く、耕作意欲の低下に繋がっている。</li> </ul>
--

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<p>水稻が収容作物であるこの地域は、生産者の高齢化が進んでいることから、若手生産者の確保が必要である。今後、後継者の育成を進め、若手生産者へ集約して行くことで生産力を確保したい。</p>
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	27.6	%	将来の目標とする集積率
			47.6 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
神門上1区の中心的な経営体や担い手に、集約を行っていく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に集積・集約化を進め、神門上1区活動組織で協議を行い進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農業委員会と連携し、農用地集積の柱となる新たな担い手の育成を図る。
(3)基盤整備事業への取組
基盤整備事業を活用し、圃場を整備する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、関係機関と連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
作業の効率化が期待できるドローン防除作業は、神門上地区防除受託組合への委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

①地域による鳥獣被害対策の集落点検マップ(侵入防止柵や檻の設置状況、目撃・被害発生場所等)づくりや、連絡網の整備や新たな捕獲人材を募集し、地域で育成していく。  
 ⑧担い手の営農や農業を担う者の利用状況などを考慮の上、農業用施設の維持補修を行っていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	戸澤 弘繁	水稻	4.91 ha	ha	水稻	4.91 ha	ha	1K	
認農	大山 辰徳	水稻	1.19 ha	ha	水稻	1.19 ha	ha	1E	
認農	江野村 政信	水稻	0.67 ha	ha	水稻	0.67 ha	ha	1O	
認農	仮谷まき子	ブロイラー	1.66 ha	ha	ブロイラー	1.66 ha	ha	1P	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	4経営体		8.43 ha	0.00 ha		8.43 ha	0.00 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。  
 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。  
 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。  
 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。  
 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業者名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。  
 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。  
 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。  
 必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月28日
更新年月日	令和 年 月 日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	美郷町 (45431)
地域名 (地域内農業集落名)	黒岩地区 (黒岩集落)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	6.81 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	6.81 ha
② 田の面積	6.81 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.00 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.00 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.00 ha
(参考) 区域内における80才以上の農業者の農地面積の合計	1.19 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0.00 ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における80才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<p>【 地域の状況 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当地区は、美郷町の南西部に位置し山林に囲まれ、小丸川の流域に水田がある。</li> <li>・水稻を主に作付を行っている。</li> </ul> <p>【 高齢化 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作者の平均年齢が64才と高齢化しており、後継者不在の農地が今後増えていくと考えられる。</li> </ul> <p>【 鳥獣被害 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イノシシ・シカによる獣害を受けている。</li> <li>・鳥獣被害による作物への被害が多く、耕作意欲の低下に繋がっている。</li> </ul>
--

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<p>水稻が収容作物であるこの地域は、生産者の高齢化が進んでいることから、若手生産者の確保が必要である。今後、後継者の育成を進め、若手生産者へ集約して行くことで生産力を確保したい。また、組織の合併等も考えていきたい。</p>
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	24.7 %	将来の目標とする集積率	44.7 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
黒岩地区の中心的な経営体や担い手に、集約を行っていく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に集積・集約化を進め、黒岩活動組織で協議を行い進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農業委員会と連携し、農用地集積の柱となる新たな担い手の育成を図る。
(3)基盤整備事業への取組
用水路のパイプラインの老朽化により漏水が見受けられるため、事業等を活用した補修工事を行う。農作業の安全を確保するため農道の舗装を検討したい。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、関係機関と連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
作業の効率化が期待できるドローン防除作業は、神門上地区防除受託組合への委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

①地域による鳥獣被害対策の集落点検マップ(侵入防止柵や檻の設置状況、目撃・被害発生場所等)づくりや、連絡網の整備や新たな捕獲人材を募集し、地域で育成していく。  
 ⑧担い手の営農や農業を担う者の利用状況などを考慮の上、農業用施設の維持補修を行っていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	戸澤 弘繁	水稻	0.47 ha	1.50 ha	水稻	0.47 ha	1.50 ha	1K	
認農	江野村 政信	WCS	1.21 ha	ha	WCS	1.21 ha	ha	1O	
利用者	竹内 誠	水稻	0.30 ha	ha	水稻	0.30 ha	ha	1S	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	3経営体		1.98 ha	1.50 ha		1.98 ha	1.50 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。  
 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。  
 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。  
 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。  
 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業者名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。  
 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。  
 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月28日
更新年月日	令和 年 月 日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	美郷町 (45431)
地域名 (地域内農業集落名)	天神田地区 (天神田・長堀集落)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	6.22 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	6.22 ha
② 田の面積	6.22 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.00 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.00 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.00 ha
(参考) 区域内における80才以上の農業者の農地面積の合計	1.19 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0.00 ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<p>【 地域の状況 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当地区は、美郷町の南西部に位置し、小丸川の流域に水田があり、造成地にも点在している。</li> <li>・水稻を主に作付を行っている。</li> </ul> <p>【 高齢化 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作者の平均年齢が70才と高齢化しており、後継者不在の農地が今後増えていくと考えられる。</li> </ul> <p>【 鳥獣被害 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イノシシ・シカによる獣害を受けている。</li> <li>・鳥獣被害による作物への被害が多く、耕作意欲の低下に繋がっている。</li> </ul>
--

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<p>水稻が収容作物であるこの地域は、生産者の高齢化が進んでいることから、若手生産者の確保が必要である。今後、後継者の育成を進め、若手生産者へ集約して行くことで生産力を確保したい。</p>
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	46.6	%	将来の目標とする集積率
			80.0 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
天神田地区の中心的な経営体や担い手に、集約を行っていく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に集積・集約化を進め、天神田活動組織で協議を行い進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農業委員会と連携し、農用地集積の柱となる新たな担い手の育成を図る。
(3)基盤整備事業への取組
軟弱な土質の改善を行い、耕作が容易に行えるよう基盤整備を計画する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、関係機関と連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域内での農作業の効率化を図るために、受託組織や担い手への委託を検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

①地域による鳥獣被害対策の集落点検マップ(侵入防止柵や檻の設置状況、目撃・被害発生場所等)づくりや、連絡網の整備や新たな捕獲人材を募集し、地域で育成していく。  
 ⑧担い手の営農や農業を担う者の利用状況などを考慮の上、農業用施設の維持補修を行っていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	戸澤 弘繁	水稻	0.96 ha	ha	水稻	0.96 ha	ha	1K	
認農	中田 昭敏	水稻	1.24 ha	ha	水稻	1.24 ha	ha	1Q	
認農	M B 1 (株)	プロイラー	0.70 ha	ha	プロイラー	0.70 ha	ha	1R	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	3経営体		2.90 ha	0.00 ha		2.90 ha	0.00 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。  
 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。  
 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。  
 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。  
 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業者名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。  
 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。  
 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月28日
更新年月日	令和 年 月 日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	美郷町 (45431)
地域名 (地域内農業集落名)	神門中地区 (本村東・本村西・田爪集落)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	18.47 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	18.47 ha
② 田の面積	18.47 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.00 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.00 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.00 ha
(参考) 区域内における80才以上の農業者の農地面積の合計	3.57 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	3.11 ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における80才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<p>【 地域の状況 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当地区は、美郷町の南西部に位置し、小丸川の流域に水田があり、造成地にも点在している。</li> <li>・水稻を主に作付を行っている。</li> </ul> <p>【 高齢化 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作者の平均年齢が70才と高齢化しており、後継者不在の農地が今後増えていくと考えられる。</li> </ul> <p>【 鳥獣被害 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イノシシ・シカによる獣害を受けている。</li> <li>・鳥獣被害による作物への被害が多く、耕作意欲の低下に繋がっている。</li> </ul>
--

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<p>水稻が収容作物であるこの地域は、生産者の高齢化が進んでいることから、若手生産者の確保が必要である。今後、後継者の育成を進め、若手生産者へ集約して行くことで生産力を確保したい。</p>
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	9.3	%	将来の目標とする集積率
			29.3 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
神門中区の中心的な経営体や担い手に、集約を行っていく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に集積・集約化を進め、神門中区活動組織で協議を行い進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農業委員会と連携し、農用地集積の柱となる新たな担い手の育成を図る。
(3)基盤整備事業への取組
基盤整備事業を活用し、圃場を整備する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、関係機関と連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域内での農作業の効率化を図るために、受託組織や担い手への委託を検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

①地域による鳥獣被害対策の集落点検マップ(侵入防止柵や檻の設置状況、目撃・被害発生場所等)づくりや、連絡網の整備や新たな捕獲人材を募集し、地域で育成していく。  
 ⑧担い手の営農や農業を担う者の利用状況などを考慮の上、農業用施設の維持補修を行っていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	戸澤 弘繁	水稻	0.66 ha	ha	水稻	0.66 ha	ha	1K	
認農	中田 昭敏	水稻	1.06 ha	ha	水稻	1.06 ha	ha	1Q	
利用者	竹内 誠	水稻	1.91 ha	ha	水稻	1.91 ha	ha	1S	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	3経営体		3.63 ha	0.00 ha		3.63 ha	0.00 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。  
 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。  
 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。  
 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。  
 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業者名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。  
 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。  
 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。  
 また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。  
 必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月28日
更新年月日	令和 年 月 日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	美郷町 (45431)
地域名 (地域内農業集落名)	峰地区 (寺の迫、上円野、峰)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	23.00 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	23.00 ha
② 田の面積	22.75 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.25 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.00 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.00 ha
(参考)区域内における80才以上の農業者の農地面積の合計	3.75 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0.66 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における80才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

本集落は、美郷町西郷地区の中心部に位置し、高齢化が進行する中、協定の対象となる農用地において、耕作放棄地の発生を防止するため、農業生産活動等に取り組んできた。  
 本集落の持つ多面的機能の確保を図り、平地地域と比べて生産条件の格差を補正する取組を行うことが必要である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

農業者の協力体制を整備し、農用地の保全や農業用施設の管理などの農業生産活動を継続することにより、水稻栽培を維持していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で中間管理機構への利用を検討する。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	27 %	将来の目標とする集積率	47 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
団地面積の拡大を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組				
農業委員会と連携し、農用地集積の柱となる新たな担い手の育成を図る。				
(2)農地中間管理機構の活用方法				
農業委員会と連携し、農地中間管理機構の活用を図る。				
(3)基盤整備事業への取組				
基盤整備事業を活用し、農道を拡幅する。				
(4)多様な経営体の確保・育成の取組				
中山間地域等直接支払制度支払交付金等の補助事業を活用し、農道や用水路の補修による農業生産条件を強化し、担い手の維持・確保を図る。				
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組				
地域内での農作業の効率化を図るために、受託組織や担い手への委託を検討する。				
以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)				
<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他
【選択した上記の取組内容】				
①協定農用地への柵、ネット等の設置等により鳥獣害防止対策を行う。				

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	甲斐 秀徳	肉用牛、水稻	5.24 ha	ha	肉用牛、水稻	5.24 ha	ha	AA	
認農	大野 英樹	水稻	0.49 ha	ha	水稻	0.49 ha	ha	AB	
認農	林田 寿利	水稻	0.42 ha	ha	水稻	0.42 ha	ha	AC	
利用者	桑津 亮	水稻	1.07 ha	ha	水稻	1.07 ha	ha	AD	
利用者	川村 博昭	水稻	1.05 ha	ha	水稻	1.05 ha	ha	AE	
利用者	川村 義幸	水稻	0.92 ha	ha	水稻	0.92 ha	ha	AF	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	6経営体		9.20 ha	0.00 ha		9.20 ha	0.00 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。  
 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。  
 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。  
 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。  
 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)	うち計画同意者数(人・%)
-------------	---------------

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。  
 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。  
 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月28日
更新年月日	令和 年 月 日 ( 第1回 )
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	美郷町 ( 45431 )
地域名 (地域内農業集落名)	小原地区 ( 小原、椈木集落、重野々集落 )

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	4.35 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	4.35 ha
② 田の面積	4.35 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.00 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.00 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.44 ha
(参考) 区域内における80才以上の農業者の農地面積の合計	0.35 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0.26 ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における80才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<p><b>【地域の状況】</b>                  ・当地区は、美郷町の北部に位置し、山林に囲まれ五十鈴川の流域に水田がある。                  ・水稲を主に作付けしている。</p> <p><b>【高齢化】</b>                  ・耕作者の平均年齢が66才と高齢化しており、認定農業者がいない当地区においては受け手の確保が課題となっている。</p> <p><b>【鳥獣被害】</b>                  ・イノシシ、シカによる獣害を受けており、耕作意欲の低下に繋がっている。</p>
---

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

水稲が主要作物であるこの地域は、耕作者の高齢化が進んでいることから、若手耕作者の確保が必要である。今後、担い手の育成を進め、若手生産者へ集約していくことで生産力を確保したい。
---

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	0 %	将来の目標とする集積率	60 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
小原地区の中心的な担い手に集約を図っていく。また、地域外から希望する認定農業者や認定新規就農者を受入れ、さらに農業を担う者を募り、地域全体で利用する仕組みの整備を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
小原地区集落協定において、担い手を中心に集積・集約化を進めるために協議を行っていく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
小原地区集落協定において農業者に対して農地中間管理機構の活用について情報提供を行っていく。
(3)基盤整備事業への取組
基盤整備事業の活用予定はないが地域農業者の需要を踏まえて検討していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地区内外から多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、関係機関と連携し、相談から定着まで切れ目なく取組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域内での農作業の効率化を図るために、受託組織や担い手への委託を検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①地域において鳥獣被害対策(電気柵や侵入防止柵の管理や周辺環境整備)を行う体制づくりに努め、併せて新たな捕獲人材の育成にも努める。  
⑧農業を営む者の利用状況などを考慮の上、農業施設の維持補修を行っていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者	前田 直樹	水稻	0.15 ha	ha	水稻	0.15 ha	ha	aA	
利用者	吉岡 宏幸	水稻	0.03 ha	ha	水稻	0.03 ha	ha	aB	
利用者	藤本 政嗣	水稻	0.48 ha	ha	水稻	0.48 ha	ha	aC	
利用者	前田 豊	水稻	0.25 ha	ha	水稻	0.25 ha	ha	aD	
利用者	甲斐 港	水稻、飼料	0.93 ha	ha	水稻、飼料	0.93 ha	ha	aE	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	5経営体		1.84 ha	0 ha		1.84 ha	0 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。  
2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。  
3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。  
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。  
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)	うち計画同意者数(人・%)
-------------	---------------

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。  
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。  
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月28日
更新年月日	令和 年 月 日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	美郷町 (45431)
地域名 (地域内農業集落名)	長野地区 (長野、力石、九郎造、山口、、尾田の原、岩下、竹の原、田谷、板屋集落)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	22.58 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	22.20 ha
② 田の面積	22.20 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.00 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.00 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.00 ha
(参考) 区域内における80才以上の農業者の農地面積の合計	3.72 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0.00 ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における80才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<p>【地域の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当地区は、美郷町の北部に位置し、山林に囲まれ五十鈴川水系板屋川、山口川の流域に水田がある。</li> <li>・ 水稲を主に作付けしている。</li> </ul> <p>【高齢化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耕作者の平均年齢が68才を超えており、現在は担い手、協定参加者で維持できている農地も今後は後継者不在農地として増えていく可能性がある。</li> </ul> <p>【鳥獣被害】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イノシシ、シカによる獣害を受けており、耕作意欲の低下に繋がっている。</li> </ul>
---

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<p>水稲が主要作物であるこの地域は、耕作者の高齢化が進んでいることから、若手耕作者の確保が必要である。今後、担い手の育成を進め、若手生産者へ集約していくことで生産力を確保したい。</p>
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
経営体や担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	9 %	将来の目標とする集積率	50 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
長野地区の中心的な経営体、担い手に集約を図っていく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
長野地区集落協定において、経営体や担い手を中心に集積・集約化を進めるために協議を行っていく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
長野地区集落協定において農業者に対して農地中間管理機構の活用について情報提供を行っていく。
(3)基盤整備事業への取組
基盤整備事業の活用予定はないが地域農業者の需要を踏まえて検討していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地区内外から多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、関係機関と連携し、相談から定着まで切れ目なく取組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域内での農作業の効率化を図るために、受託組織や担い手への委託を検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①地域において鳥獣被害対策(電気柵や侵入防止柵の管理や周辺環境整備)を行う体制づくりに努め、併せて新たな捕獲人材の育成にも努める。  
⑧農業を営む者の利用状況などを考慮の上、農業施設の維持補修を行っていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				備考
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	
認農	柳田 祐一	水稲、菌床椎茸	0.49 ha	ha	水稲、菌床椎茸	0.49 ha	ha	bM	
認農	柳田 竜佑	菌床椎茸	0.07 ha	ha	菌床椎茸	0.07 ha	ha	bN	
認就	長友 琢麻	水稲、飼料作物	1.46 ha	ha	水稲、飼料作物	1.46 ha	ha	aS	
利用者	田村 亮三	水稲、飼料作物	1.64 ha	ha	水稲、飼料作物	1.64 ha	ha	bO	
利用者	上杉 誠	水稲	1.03 ha	ha	水稲	1.03 ha	ha	bP	
利用者	渡部 司	水稲	0.97 ha	ha	水稲	0.97 ha	ha	bQ	
利用者	廣島 幸男	水稲	0.97 ha	ha	水稲	0.97 ha	ha	bR	
			ha	ha		ha	ha		
計	7経営体		6.63 ha	0 ha		6.63 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

注2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

注3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

注4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

注5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月28日
更新年月日	令和 年 月 日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	美郷町 (45431)
地域名 (地域内農業集落名)	入下地区 (神ノ原、屋敷水流、堂ノ越、宮ノ脇、入下本村、椿原、下ノ原、尾平集落)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	34.13 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	33.79 ha
② 田の面積	33.79 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.00 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.00 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.00 ha
(参考) 区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	15.40 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	11.40 ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<p>【地域の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当地区は、美郷町の北部に位置し、山林に囲まれ、五十鈴川流域に位置する。</li> <li>・ 当該地域の農地は、主に水稻の耕作を行っている。</li> </ul> <p>【高齢化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耕作者の平均年齢は68歳を超えており、現在は経営体や担い手、協定参加者で維持できている。今後は後継者不在の農地が増えていく可能性がある。</li> </ul> <p>【鳥獣被害】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イノシシ、シカによる獣害が増えており、耕作意欲の低下につながっている。</li> </ul>
---

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

水稻が主要作物であることから、経営体や担い手の育成に努め、若手生産者へ集約していくことを進めたい。
---

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
経営体や担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者への農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	30 %	将来の目標とする集積率	50 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
入下地区の中心的な経営体や担い手に集約を図っていく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
現状の地域の担い手に農地を集約・集積していく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地中間管理機構を活用しつつ、農業者の経営状況に応じて段階的に農地集積を図る。
(3)基盤整備事業への取組
基盤整備事業の活用予定はないが地域農業者の需要を踏まえて検討していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域内の担い手に集積し規模拡大を図る。また、集落内の農業者が経営しやすい環境を整える。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域内での農作業の効率化を図るために、受託組織や担い手への委託を検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

①地域において鳥獣被害対策(電気柵や新入墓施策の設置管理、周辺環境整備)を行う体制づくりに努める。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
集	(合)さるまっこ	水稻	3.92 ha	ha	水稻	3.92 ha	ha	aX	
認農	戸高 孝敏	水稻、野菜	1.50 ha	ha	水稻、野菜	1.50 ha	ha	aY	
認農	鶴田 豪	水稻、野菜	4.02 ha	ha	水稻、野菜	4.02 ha	ha	aZ	
認農	小野 敬	花き	0.31 ha	ha	花き	0.31 ha	ha	bA	
利用者	甲斐 友広	水稻	0.46 ha	ha	水稻	0.46 ha	ha	bB	
認農	杉本 慎吾	菌床椎茸	0.34 ha	ha	菌床椎茸	0.34 ha	ha	bC	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	6経営体		10.55 ha	0 ha		10.55 ha	0 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業者名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)	うち計画同意者数(人・%)
-------------	---------------

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月28日
更新年月日	令和 年 月 日 ( 第1回 )
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	美郷町 ( 45431 )
地域名 (地域内農業集落名)	黒木地区 ( 黒木集落 )

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	3.09 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	3.09 ha
② 田の面積	3.09 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考) 区域内における80才以上の農業者の農地面積の合計	0.22 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0.00 ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<p>【地域の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当地区は、美郷町の北東部に位置し、山林に囲まれ五十鈴川の流域に水田がある。</li> <li>・ 水稻を主に作付けしている。</li> </ul> <p>【高齢化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耕作者の平均年齢が70才以上と高齢化しており、認定農業者がいない当地区においては受け手の確保が課題となっている。</li> </ul> <p>【鳥獣被害】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イノシシ、シカによる獣害を受けており、耕作意欲の低下に繋がっている。</li> </ul>
--

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<p>水稻が主要作物であるこの地域は、耕作者の高齢化が進んでいることから、若手耕作者の確保が必要である。今後、担い手の育成を進め、若手生産者へ集約していくことで生産力を確保したい。</p>
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	0 %	将来の目標とする集積率	50 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
黒木地区の中心的な担い手に集約を図っていく。また、地域外から希望する認定農業者や認定新規就農者を受け入れ、さらに農業を担う者を募り、地域全体で利用する仕組みの整備を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
黒木地区集落協定において、担い手を中心に集積・集約化を進めるために協議を行っていく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
黒木地区集落協定において農業者に対して農地中間管理機構の活用について情報提供を行っていく。
(3)基盤整備事業への取組
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地区内外から多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、関係機関と連携し、相談から定着まで切れ目なく取組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①地域において鳥獣被害対策(電気柵や侵入防止柵の管理や周辺環境整備)を行う体制づくりに努め、併せて新たな捕獲人材の育成にも努める。  
⑧農業を営む者の利用状況などを考慮の上、農業施設の維持補修を行っていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者	うつきファーム	野菜	0.53 ha	ha	野菜	0.53 ha	ha	bG	
利用者	黒木 富博	水稲、飼料	0.76 ha	ha	水稲、飼料	0.76 ha	ha	bH	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	2経営体		1.29 ha	0 ha		1.29 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。  
2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。  
3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。  
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。  
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。  
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。  
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。